



2021南中学校通信

第14号

令和4年3月25日

校長 北村 浩久

本日で3学期も終わり、あと数日で令和3年度も終了となります。

1年を振り返ってみると、2学期初めのオンライン授業の実施、2年生の職場体験学習の中止、3年生修学旅行の訪問先変更（三重県内）、体育祭や文化祭の学校行事における実施規模縮小、中体連新人大会の中止、授業における感染防止対策の徹底など、昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルスに翻弄された1年となりました。

しかしながら、このような状況下にあっても子どもたちは生き生きと学校生活を送り、中学生らしくたくましく成長した姿を見せてくれました。これも保護者や地域の皆さまに、本校が感染防止対策を取った上で実施する教育活動にご理解ご協力をいただけたからこそその姿であると感謝しております。

新型コロナウイルスの影響は来年度もまだまだ続くと思われます。令和4年度も学校、保護者、地域が一体となった教育活動を進めていきたいと考えておりますので、今年度同様のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

1年間本当にありがとうございました。

☆☆ 令和3年度修了式 ☆☆

本日、今年度締めくくりの修了式を行いました。

私からは、1年を振り返るとともに、卒業式の様子を伝え、学校長式辞として卒業生に送った「不易流行」という言葉について話しました。

<学校長式辞（抜粋）>

「不易流行」の「不易」とは、どのような時代になっても変わらないもの、また、変えてはいけないもの、そして、「流行」とは、世の中の変化とともに変わっていくもの、という意味があり、相反する概念が、一つになった言葉です。（中略）

生徒一人一台のタブレットが、前倒しをして導入され、ICTを活用した教育活動が加速度的に進められています。これも、コロナ禍において、これまで以上に教育効果を出すための、知恵と工夫の一つであり、世の中の変化とともに変わっていく、「流行」であると言えるでしょう。

それに対して、これからの時代がどのように変化しようとも、変えてはいけない「不易」とは、皆さんなら、どのようなことを思い浮かべるでしょうか。

私は、その一つに「人の心」が当てはまるのではないかと考えています。「人を大切にする温かい心」「人に感謝する謙虚な心」「夢の実現に向けて継続的に努力する強い心」、まだまだたくさんあるでしょう。

時代がどのように移り変わろうとも、人が人として成長し続けるために、そして、世の中のすべての人が、平和で心地よく生きていくために、「不易」とも言える「心」の部分については、これからも変わることなく、大切にしていってほしいと思います。

これから皆さんの歩む道には、様々な変化が待ち受けています。皆さんには、その変化に対して順応できる柔軟な力と、どのような変化に対しても変わることをない熱い思いの両面を持ち合わせた人に成長してくれることを願っています。

私の話真剣なまなざしで耳を傾けてくれる在校生の姿は、卒業生の思いを引き継ぎ、きっとこの子どもたちがこの南中学校をさらに発展させていってくれるだろうという思いを強くさせてくれるものでした。

4月には、2年生は最上級学年の3年生に、1年生は先輩となる2年生に進級します。時には壁にぶつかりくじけそうになることもあるかもしれませんが、本校の学校教育目標「あしたは もっとたかく」の実現に向け、令和4年度も充実した1年にしてほしいと思います。

☆☆ 離任式 ☆☆

修了式終了後、離任式を行いました。

春は出会いの季節ですが、別れの季節でもあります。今年度末をもって、8名の職員が本校を離任することになりました。

離任式では、子どもたちに対して離任する教員一人ひとりが最後の言葉を述べ、別れを惜しみました。また、子どもたちからは離任する先生に対してこれまでのお礼の言葉とともに、花束の贈呈がありました。

勤務年数はそれぞれ違いますが、保護者や地域の皆さまとともにこの南中学校の教育に携われたことを誇りに思います。

本当にありがとうございました。

なお、離任教員名等については、本日配付の「離任のお知らせ」でご確認ください。

☆☆ 第75回卒業証書授与式 ☆☆

3月7日(月)、207名の3年生が本校を巣立っていきました。

保護者の方には出席していただくことはできませんでしたが、今年度も来賓については教育委員会から1名、在校生についても代表者1名だけの出席となりました。また、新型コロナウイルス感染リスクの軽減のため、式直前に式歌を歌わないように教育委員会から指示があり、急きょ内容を変更せざるを得なくなってしまいました。

そんな中執り行われた卒業式でしたが、式に臨む卒業生は、先生の呼名に力強く返事をし、しっかりと私の目を見て卒業証書を受け取り、「今できることをやりきる」という強い意志を感じさせてくれました。その姿は大変すばらしく拍手を送りたくなるものでした。

在校生を代表して生徒会長の市川貴介さんが読み上げた送辞では、卒業生との思い出を語り、「南中学校を挨拶と笑顔あふれる学校にしていきたいと思います」と述べてくれました。堂々と語るその姿に、これからの南中学校を担う在校生を大変頼もしく思いました。

また、卒業生を代表して木下晴花さんが述べた答辞では、「在校生のみなさんのおかげで、私たちは最高学年としての自覚を持ち、日々成長することができました。」と感謝の言葉を伝えてくれました。そして最後に、「『あしたはもっとたくかく』の言葉を胸に、どんな時もあきらめず、前を向いて、一步一步、歩んでいきます。」と未来に向かって、力強く宣言してくれました。

急きょ歌うことができなくなった式歌でしたが、伴奏に合わせて歌詞を朗読するという形に変更しました。歌うことはできませんでしたが、伴奏に合わせた歌詞の朗読が、卒業生の思いを代弁しているようで、感動的な式歌朗読となりました。

様々な制限下の中で執り行われた卒業式でしたが、心温まるものとなり、卒業生には未来に向かって精一杯羽ばたいてほしいと思います。

ご卒業おめでとうございます。

☆☆ パン注文廃止 ☆☆

すでに3月15日に配付した「パン注文廃止のお知らせ及びデリバリー昼食の登録へのお願い」でお伝えしたように、本校では、令和4年度からパン注文を廃止することとしました。

したがって、次年度の昼食は「家庭で用意した弁当」か「デリバリー昼食」のいずれかを選択していただくこととなります。デリバリー給食については、日頃利用していない人でも、登録さえしておけば急に家庭で弁当が準備できなくなったときも、予備食で対応ができます。これまで未登録だった人は、この機会に必ず登録していただきますようお願いいたします。

なお、令和5年度からはデリバリー昼食もなくなり、食缶給食(小学校と同じような形式)となります。

☆☆ 「C4th Home&School」の導入(すぐメール廃止) ☆☆

「すぐメール」の契約終了に伴い、令和4年度から新しい学校保護者連絡システム「C4th Home&School」が四日市市で導入されます。3月14日に配付した文書で利用者登録についてはお伝えしてありますが、まだ登録がお済でない保護者の方は、ご登録をお願いいたします。今後の各家庭への連絡は、3月31日までは「すぐメール」4月1日以降は「C4th Home&School」にて配信します。